

中小企業の診断及び助言に関する実務の事例 III : 解答用紙

(生産・技術を中心とした経営の戦略及び管理に関する事例)

受験番号(楷書で丁寧に書きください)						イニシャル			
2	0	2	1	5	0	3	6	名	氏
						(Y・N)			

採点欄
63

第1問 (配点 20点)

(a)

設計から据付工事までの一貫生産体制や研磨技術、特殊加工等の技術力、開発力がある。

(b)

工程順序や工数見積りが標準化されていない為、製作前のプロセスに時間を要し納期遅延

「強み」「弱み」ともに与件のヒントを上手く捉えています。Good!!

13

第2問 (配点 40点)

(設問1)

(a)

問題点は、①造形物のイメージ摺合わせや製作前のプロセスに時間を要し、②図面承認後の製作段階での打ち合わせ発生、等である。

(b)

デザイナーは顧客ですね。

改善策は、①設計者やデザイナーとの同行営業で摺合わせ時間の短縮、②製造指示書による加工指示体制の構築で打ち合わせの削減。

「技術研修」なども書きたかったですね。

12

(設問2)

(a)

これは与件との繋がりが薄いと思います。

問題点は、①月次の生産計画立案、②加工難易度を優先した計画、③作業途中の加工部の移動、④作業チームの技術力に差がある。

(b)

改善策は、①日次の生産計画立案で短サイクル化、②納期を優先した計画立案、③流水線図でスペース確保、④ロジックで技術力の向上。

①以外は問題点に対応した対応策を書けています。Good!!

12

第3問 (配点 20点)

C社は、①設計図や仕様書、納期等の受注関連情報、製作図や図面等の製品仕様情報を、②営業部と製造部でネットワーク化し情報共有を図り、また、③共通ポータルによる一元化を実施、等により情報共有体制を構築し、整備し、納期を遵守する生産体制を行う。

13

情報管理について、上手く展開できています。Good!!

活用方法を具体的に書けるとさらに良かったですね。

第4問 (配点 20点)

C社は、①都市型建築の増加に伴う製作依頼に対応するため、②C社の高い加工技術力や一貫生産体制を活かしつつ③製作団の理解力強化や工順、見積りの標準化、ユニバーサル化を行い、営業体制を強化、など高い価値のモノづくり製品事業の充実、拡大を図る。

13

設問で述べられた戦略に対して、戦略をどのように実現するのか、具体的な実現方法を書けています。Good!!

全般的に分かりやすいキーワードを活用できていると思います。

「失敗してしまった」や「こう書けばよかった」と思って不安になることもあると思いますが、これまで十分に努力してきたので、「果報は寝て待て」と言うように、口述対策としてMMCの解答例でも眺めながら、気を楽しんで発表の日までお過ごしください。良い結果を祈念しております。

MMC講師 勝山

各設問の配点：第3問(設問1)は20点、(設問2)は20点として採点しています。

(株)MMC解答を添削基準としています。

他の解答も正答として考えられます。そのため本試験の採点結果と一致しないことが考えられますが、ご容赦下さい。解答用紙の添削コメント等の著作権は(株)MMCに帰属します。許可無く一切の転用・転載を禁じます。